

## 大和川と古代日本の展開 - 河内の歴史を訪ねて -

奈良時代、大和に次ぐ寺院密集地だった河内。特に現在の柏原市域には、六大寺と呼ばれる寺院が山すそに沿って麓（いらか）を並べ、その中の一つ、智識寺には、奈良・東大寺の大仏のモデルとなった河内大仏が鎮座し、「大和の一郎」「河内の二郎」と称していました。

また、河内六大寺や河内国分寺、河内国分尼寺、片山廃寺、船橋廃寺、田辺廃寺、他の寺院と竹原井離宮、智識寺南行宮の2つの離宮が造営された現地を訪れ、発掘調査で出土した遺構や瓦、土器を柏原市立歴史資料館で見学し、専門家への質問などを通して、仏教文化が華やいた当時の様子や、交通の要所として大和川の果たした役割などを紹介します。